

vol.11

# 今月の 語り かける土

*Pickup Artist*



## スクエア' 17



加藤 委つぶさ

これは四方よほうの器を崩したものと問う愚問を加藤は言下に否定した。かつて加藤は器とオブジェについて、「そのハードルをとっぱらっちゃったということです。だから、オブジェ作るのも、器を作るのもすごく楽になりました」と述べていた。ニュージーランドカオリンという磁土せいほくじゆうと青白磁釉を、猛々しく、鋭く、危ういバランスで駆使し、器もオブジェも軽々と超えて「作っていること自体が表現」と喝破する。後進の作家たちを牽引する先駆的な作家でもある。

(多治見市美濃焼ミュージアム所長 渡部誠一わたなべ せいいち)

※本連載では、国内外で活躍する多治見市ゆかりの陶芸作家と作品を紹介します